

2013年度活動報告書

三輪眞弘 / 教授、研究科長

今年度の活動

学内における様々な役割と並行して、数多くの創作活動の中でも今年はドイツ文化庁から助成を受けた3年計画のプロジェクト「Hybrid Music」の最終年度として”シンギングマシン、アイントーンと9人の奏者のための「ひとのきえさり、藤井貞和の詞による序奏と朗読」”を完成させ、作品はドイツのエッセンで初演、その後名古屋と東京で再演された（文化庁から助成を受けた「アート/メディア/身体表現に関わる専門スタッフ育成事業」とも連動）。また、学内プロジェクトとも連動した「フォルマント兄弟」としての科研プロジェクト「MIDIアコーディオンによる合成音声の発話及び歌唱の研究」も最終年度となりMIDIアコーディオンのための「兄弟式国際ポタン/音素変換標準規格」を発表し、それに基づく音楽作品「夢のワルツ」を完成させ実演した。創作以外では第17回文化庁メディア芸術祭アート部門審査員はもとより、今年は京都賞の審査委員、音楽関係団体の代表や理事として多くの時間を使うことになった。

学外の活動



「ひとのきえさり」日本初演 (2/9)

作品発表

- ・ 7/12~15 神奈川芸術劇場、やなぎみわ新作「ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテープ」公演（音声デザインをフォルマント兄弟として参加）初演
- ・ 7/14 YCAM「架空の映画音楽の為の映像コンペティション」講評会とDOMMUNE配信（トーク&ライブ）に参加。「流星礼拝」再演
- ・ 7/27 石川県立音楽堂、東京楽所が舞楽「算命楽」 聲明付再演
- ・ 8/30~9/1 愛知トリエンナーレ、やなぎみわ新作「ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテープ」公演（音声デザインをフォルマント兄弟として。31日昼公演アフタートークに参加）

- ・ 10/10~14 岐阜県立美術館、IAMAS ARTIST FILE#01 「三輪眞弘 逆シミュレーション音楽の世界」 「あたりさま人形」、「Thinking Machine」などを展示。13日実演&対談「コンピュータがもたらした世界」(with 水野勝仁)
- ・ 10/26 Hybrid Music@Essen "hitonokiesari (people vanish)" für Singing Machine, Ein Ton und neun Musiker 世界初演
- ・ 11/2 いずみホール(大阪) TRANS MUSIC 「野平一郎を迎えて」で「Four bit counters」日本劇場初演
- ・ 12/8 電気文化会館(名古屋) 日本電子音楽協会「電力芸術演奏会」で兄弟式国際ボタン/音素変換標準規格(BBPTSI)初の「夢のワルツ」初演

2014/

- ・ 1/23-26 東京入谷、横浜都市文化ラボ「パノラマプロジェクト」で6人の当番のための「みんなが好きな給食のおまんじゅう」二地点同期初演
- ・ 2/9 Hybrid Music@愛知芸術文化センター：シンギングマシーン、アイントーンと9人の奏者のための「ひとのきえさり、藤井貞和の詞による序奏と朗読」日本初演
- ・ 2/11 Hybrid Music@アサヒ・アートスクエア：シンギングマシーン、アイントーンと9人の奏者のための「ひとのきえさり、藤井貞和の詞による序奏と朗読」関東初演
- ・ 3/8 IAMAS 「さよなら領家町祭」御霊遷の義、「餅撒き」初演。IAMASリング公開
- ・ 3/24 杉並公会堂、低音デュオのための「お母さんがねたので」初演
- ・ 3/28-30 京都旧立誠小学校、横浜都市文化ラボ「パノラマプロジェクト」で6人の当番のための「みんなが好きな給食のおまんじゅう」関西初演
- ・ 3/30 東京文化会館、ヴォクスマーナ第30回定期演奏会、女声傍観者達と5人の男性歌手のための「火の鎌鼬」初演

講演、その他

- ・ 4/29 名古屋カフェ・パルル、「フォルマント兄弟が語る、安野太郎のゾンビ音楽」に出演
- ・ 5/18 京都精華大学、Doors〈音楽〉が終わったら：フォルマント兄弟の「声道機械」新国際標準規格を日本記号学会で発表。兄弟式国際ボタン/音素変換標準規格(BBPTSI)による「きよしこのよる」二重奏を実演
- ・ 6/9 神奈川芸術劇場、レクチャー『私の声がきこえる?』～やなぎみわ演劇プロジェクト「ゼロ・アワー」にフォルマント兄弟として参加
- ・ 7/27, 28 IAMASオープンハウスでゲスト・トーク「音楽と録音の未来」松井茂氏と対談
- ・ 10/5 名古屋市立大学、先端芸術音楽創作学会第17回JSSA研究会でフォルマント兄弟の「兄弟式国際ボタン音素変換標準規格」に至る長くまっすぐな道”を発表
- ・ 10/9 京都アトリエ劇研、「パブリック・アドレス」&「エヴェレット・ライズ」二作品上演後、特別トークにゲスト出演
- ・ 12/8 電気文化会館(名古屋) 日本電子音楽協会「電力芸術演奏会」で兄弟式ボタン/音素変換国際標準規格(BBPTSI)版の「夢のワルツ」初演

2014/

- ・ 1/12 文化庁メディア芸術祭愛知展で「メディアと芸術 フォルマント兄弟のまなざしから」と題してプレゼンテーション

- ・ 1/18 文化庁大学を活用した文化芸術推進事業「アート/メディア/身体表現に関わる専門スタッフ育成事業」のシンポジウム「新しい文化の創成に向けて - これからのメディア（を用いた）表現を担う人材が育つ場とは」にパネリストとして参加
- ・ 2/14 メディア芸術祭「アートがもたらす世界の捉え方04～テクノロジー再考」モデレーターとして参加
- ・ 2/22 IAMAS2014展、フォルマント兄弟の「MIDIアコーディオンによる合成音声の発話及び歌唱の研究」総括報告・シンポジウム（ゲスト：久保田晃弘、福田貴成、山崎雅史）主宰



・ BBPTSI版初の「夢のワルツ」初演 (12/8)

教育活動

- ・ 7/16 東京藝術大学、野平一郎教授の授業に特別ゲストとして参加
- ・ 2/20,21 早稲田大学「新しい演劇人<ドラマトウルク>養成プログラム」「冬の旅」ワークショップ成果発表会で講評ゲストとして参加

出版

・

パブリケーション

テレビ：

- ・ 2014 1/ 9 schola 坂本龍一 音楽の学校「電子音楽」（NHK総合、毎週木曜4回シリーズ）

書籍：

- ・ 2014 1/29 コモンズ：スコラ、シリーズ第13巻『電子音楽（Electronic Music）』の選曲、座談会、解説者として参加

カタログ：

- ・ 「テクノロジーから見た人間世界」審査講評、「覚醒をうながすメディアアート」鼎談 第17回文化庁メディア芸術祭受賞作品集

雑誌：

・

ウェブ：

- ・ ウェブサイト「IAMAS ARTIST FILE#01 三輪眞弘 逆シミュレーション音楽の世界」
- ・ ウェブサイト「MIDIアコーディオンによる合成音声の発話及び歌唱の研究」
- ・ YouTube「フォルマント兄弟の長くまっすぐな道」（ビデオ解説）
- ・ YouTube「兄弟式国際ボタン音素変換標準規格」に基づく『夢のワルツ』（スタジオ版）

社会的活動

- ・ 日本作曲家協議会理事
- ・ 日本電子音楽協会会長
- ・ インターカレッジ・コンピュータ音楽コンサートワーキング・グループ代表
- ・ 情報処理学会音楽情報科学研究会運営委員
- ・ 第17回文化庁メディア芸術祭アート部門審査員主査
- ・ 入野賞審査委員
- ・ 第29回京都賞、思想・芸術部門（音楽）審査委員

学内の活動

- ・ 担当授業：総合学C（情報・身体・メディア）、芸術特論A（情報X芸術）、特別研究（論文指導）、学内プロジェクト
- ・ 学内プロジェクト（詳細は各プロジェクトの報告書を参照）：
「新しい時空間における表現研究」（最終年度）
- ・ 「MIDIアコーディオンによる合成音声の発話及び歌唱の研究」（最終年度。科学研究費補助研究、代表）
- ・ 文化庁大学を活用した文化芸術推進事業「アート/メディア/身体表現に関わる専門スタッフ育成事業」（初年度で最終年度。代表）
- ・ 個人プロジェクト（作曲、執筆ほか）
- ・ 学内での役割：研究科長としてがんばった。